ｅ－普及だより　　第２７４号（通算１０９２号）

令和８年 10 月 13 日
編集・発行　農林水産省農産局技術普及課

☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆
ᔕᔕᔕ

技術の導入にご関心のある農業者の方に周知をお願いいたします。
　※広域型の公募は実施しておりません。

▼詳細はこちら
スマート技術体系への転換
https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/sumaten.html

※お問い合わせ先
　農林水産省　農産局　技術普及課　スマートユニット
（担当：鈴木、永田、土屋）（０３－６７４４－２１０７）

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
◆コンバイン事故に注意！大雨・水没機械への対応も！
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
　例年、稲の収穫期はコンバインによる事故が多発しております。手こぎ作業では手袋やタオルを外して袖口を締め、点検時はエンジンを停止しましょう。転落・転倒事故には危険箇所の事前確認や目印の設置、畦の草刈りやバックモニターの装備が有効です。
　また、全国で大雨や長雨が見られます。雨により作業が遅れる場合でも、焦らず安全第一で行ってください。農業機械が水没した場合はエンジンをかけず速やかに乾燥させ、業者へ相談をしましょう。バッテリーや配線への浸水は漏電や火災の恐れがあり注意が必要です。
　普及指導員の皆様におかれましても、農林水産省 WEB サイト掲載の啓発資料をご活用いただき、農業者への注意喚起・指導、大雨後の安全確保や水没機械の取扱いについての周知をお願いいたします。
　農林水産省では、都道府県や農機具販売業者等から収集した農作業死傷事故の情報（速報値）を毎月集計・公表しています。こちらもご覧ください。

▼詳細はこちら
https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/jikojoho.html

※お問い合わせ先
　農林水産省　農産局　技術普及課　機械・安全ユニット
（担当：藤田）（０３－６７４４－２１０７）

┼┼・……　病害虫発生予報の発表について　……・┼┼
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
◆「令和８年度　病害虫発生予報第８号」（令和８年 10 月７日（水）付け）を発表しました
【消費・安全局植物防疫課】
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
　農林水産省は、今後の農作物の病害虫発生動向や防除について「病害虫発生予報第８号」を発表しました。
　普及指導員の皆様におかれては、病害虫防除所等と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○今後発生量が多くなると予想される主要な病害虫及び地域

- 果樹では、果樹カメムシ類の発生が、東海及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- 大豆では、吸実性カメムシ類の発生が、近畿及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- 野菜・花きでは、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ及びハスモンヨトウの発生が、南東北、北関東、北陸、東海、近畿及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、かんきつのハダニ類等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期の防除を実施してください。

▼詳細はこちら
○「令和８年度 病害虫発生予報第８号」の発表について（令和８年 10 月７日（水）付け農林水産省プレスリリース）はこちらから
https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/261007.html
※ 都道府県の発表する病害虫発生予察情報と併せてご利用ください。
○都道府県の病害虫発生予察情報などはこちらから
https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html

※お問い合わせ先
農林水産省　消費・安全局　植物防疫課　国内防除第２班
（０３－３５０２－３３８２）

┼┼・……　施策情報　……・┼┼

◆農業現場におけるクマの出没及び人身被害防止等に対する指導等の徹底について

【農村振興局鳥獣対策・農村環境課】

クマは、冬眠に入る前の 10 月から 11 月にかけて、餌を求めて人里近くまで行動圏が拡大すると一般的にいわれていることから、出没についてより一層の注意が必要です。

農業現場においては収穫期を迎えており、クマとの遭遇を避けるため、農作物の収穫残さや放置された果実等の誘引物の除去など、クマへの注意・対策が必要であり、農林水産省から各都道府県あてに通知したところです。

普及指導員の皆様からも農業者等への指導及び注意喚起の徹底について、ご指導の程よろしくお願いします。

▼詳細はこちら
○農林水産省作成リーフレット「クマにご注意下さい！」
https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/tyuuikanki/attach/pdf/index-18.pdf
○農林水産省から都道府県あての注意喚起の通知
https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/tyuuikanki/index.html

○クマ撃退スプレーの性能に係る推奨要件（環境省）（外部リンク）
https://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort12/kuma-oshirase-r080825.html
○クマ撃退スプレーの備え方（環境省、消費者庁）（外部リンク）
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_087/
○クマ類の出没対応マニュアル－改定版－（環境省）（外部リンク）
http://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/index.html
○クマに関する各種情報・取組（環境省）（外部リンク）
http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort12/effort12.html

※お問い合わせ先
農林水産省　農村振興局　鳥獣対策・農村環境課
（担当：髙木、藤邑）（０３－６７４４－７６４２）

＝＝

◆eMAFF 申請 2.0 が令和８年 10 月１日（木）よりスタートしました！！
【大臣官房デジタル戦略グループ】

＝＝

農林水産業に関する手続きをオンラインで行える農林水産省共通申請サービス（eMAFF 申請）について、「eMAFF 申請 2.0」としてリニューアルし、令和８年 10 月より申請受付を順次開始しております。

【eMAFF 申請 2.0 の主な改善ポイント】
・申請・承認時の使いやすさや表示内容の改善
・迷いなく入力できる工夫
・入力不備のチェック機能の強化
・システム上でやり取りが完結できる通知・連絡の工夫

農業者や関係事業者の皆様が、窓口に行かなくても各種手続きを行えます。操作動画も公開しておりますので、初めての方でも利用しやすくなっております。
普及指導員の皆様におかれましては、eMAFF 申請 2.0 が対応する手続きの対象者に向け、利用促進するための周知にご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。
周知用のパンフレット等を作成し、HP に掲載しておりますので、そちらも是非ご活用いただきながら、周知いただけますと幸いです。

▼詳細はこちら
○eMAFF 申請 2.0 ログインページ
https://emaff2.maff.go.jp/emaff/app/ext/guest/top/extUserTopView
○eMAFF 申請 2.0 概要ページ
https://www.maff.go.jp/j/kanbo/dx/emaff.html
○対象制度及び制度ごとの利用開始時期について
https://www.maff.go.jp/j/kanbo/dx/emaff_shinsei_tetsuzuki.html
○操作方法について
https://www.maff.go.jp/j/kanbo/dx/emaff_shinsei_leaflets_tutorial_vide

os.html

※お問い合わせ先
　eMAFF 申請お問い合わせ窓口（０５７０－５５０－４１０）
　農林水産省　大臣官房　デジタル戦略グループ　eMAFF 申請班
（０３－３５０２－８４３８）

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

◆受講のご案内：加工・業務用野菜の省力化・低コスト化生産技術コース
【農林水産研修所つくば館】

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

　農林水産研修所つくば館は、下記の日程で令和８年度加工・業務用野菜の省力化・低コスト化生産技術コースを水戸ほ場にて開催します。
　本研修では、外食産業等で近年需要の増大している加工・業務用野菜の機械導入による低コスト化を目指す最新の技術や動向等を実演を交えながら学べるカリキュラムを用意しています。実演する機械は、ホウレンソウなど軟弱野菜の加工向け専用収穫機、たまねぎ収穫機等を予定しています。
　普及指導員の皆様におかれましても、ご参加及び関係者への周知のほどよろしくお願いします。
　研修月日：令和８年 12 月３日（木）
　申込期限：令和８年 11 月 19 日（木）
　募集定員：10 名
　※定員を満たした場合には受付を終了する場合があります。

▼詳細はこちら
https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/kensyu/pdf/08_kakou.pdf
https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/zyuko/app.html

※お問い合わせ先
　農林水産省　農林水産研修所つくば館（農業機械研修担当）
（０２９－８３９－９４８１）

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

◆公開シンポジウム「日本茶の輸出拡大に向けた技術開発の現状と今後の展開方向」（11 月 19 日（木）開催）
【農研機構】

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

　農研機構は 11 月 19 日（木）に鹿児島市にて、九州茶業協議会、鹿児島県と共催で、合同公開シンポジウム「日本茶の輸出拡大に向けた技術開発の現状と今後の展開方向」を開催します。
　有機栽培茶やてん茶を中心に、輸出に適した新品種の育成や総合防除技術など、日本茶の輸出拡大に向けた研究開発の最新成果を紹介します。あわせて、今後の技術開発や産地形成の方向性について議論し、わが国茶産業のさらなる発展に向けた戦略構築を考えます。
　普及指導員の皆様におかれましては、本シンポジウムが茶業に係る普及推進の一助となりますと幸いです。

▼詳細はこちら（外部リンク）
https://www.naro.go.jp/event/list/2026/10/177933.html

※お問い合わせ先
　農研機構　果樹茶業研究部門　研究推進部茶業連携調整役
（０５４７－４５－４１０１）

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
◆（みどり戦略技術紹介）「南水」樹体ジョイント樹の主枝直下への帯状局所施肥による慣行施肥の 30%減肥技術
【大臣官房政策課技術政策室】
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
　ニホンナシ品種「南水」のジョイント仕立て栽培において、主要根群域が分布する主枝配枝直下へ、３月下旬にリニア型 40 日タイプの被覆尿素を、９月下旬に速効性窒素をそれぞれ１ｍの幅で帯状に表面局所施用（帯状局所施肥）することで、慣行施肥と比べて、追肥を省略でき、施肥量を 30%削減できる上に、同等の生育・収量を維持できます。
　詳細な情報は、みどり技術カタログをご覧ください。
　普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら
○「みどりの食料システム戦略」技術カタログ（分割版：果樹）p.28
「南水」樹体ジョイント樹の主枝直下への帯状局所施肥による慣行施肥の 30%減肥技術
https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/04_midori_catalog5_fruit.pdf#page=28
○「みどりの食料システム戦略」技術カタログ
https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html

※お問い合わせ先
　農林水産省　大臣官房　政策課　技術政策室
（担当：淺野、佐藤）（０３－３５０２－３１６２）

∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽∽
※メルマガの配信登録はこちら
　　https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html
※バックナンバーはこちら
　　https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html
※ＰＤＦ形式のファイルの閲覧について
　メールマガジンに記載したＵＲＬで、一部ＰＤＦ形式のものがあります。
　ＰＤＦファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ
　⇒ https://www.maff.go.jp/j/use/link.html
　「３　ＰＤＦファイルについて」をご覧になり、「Get Adobe Reader」

のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。